

09 茨城県石岡市

設定区域

かきおか おばた あしほ こいせ
柿岡地区、小幡地区、葦穂地区、恋瀬地区、
かわらや そのべ はやし こざくら きたしょうがっこう
瓦会地区、園部地区、林地区、小桜地区、北小学校学区

有機

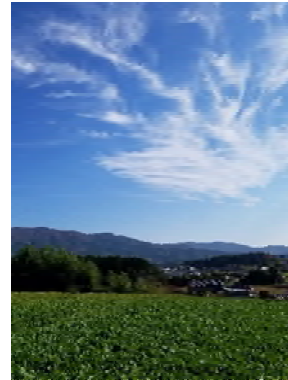
温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

石岡市は、都心から70kmのアクセスの良さに加え、筑波山系に囲まれた盆地の中に広がる農業の盛んな地域であり、有機農業を推進するため、自然環境の保全に資する環境保全型農業などに取り組んできました。

また、新規就農者支援施設「朝日里山ファーム」を開設し、有機農業をはじめとした地域農業の担い手の育成等を行っています。



石岡市の田園風景



石岡市

2 地域の課題

農家の高齢化による担い手不足や、耕作放棄地の増加などの問題に伴う、既存の有機農家及び新規有機農業就農者への支援体制の強化が課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

有機農業技術の普及推進、新規就農者施設による新たな有機農業者の増加など、有機農業モデル団地としての更なる取り組みの推進を図っていきます。

4 推進する生産者の取組

- ① 炭素貯留効果の高い堆肥や緑肥等を活用した生産技術の普及
- ② 新規就農者施設の運営による、新規有機農業者の輩出及び有機ほ場の拡大
- ③ JAやさと有機栽培部会による学校給食等への食材提供の推進



新規就農者支援施設
「朝日里山ファーム」の卒業生

5 生産者の取組紹介

【JAやさと有機栽培部会】

- ・1997年に地元生産者と県外からの移住者10戸で設立、現在の部会員は32人。
- ・化学肥料・化学合成農薬を一切使用しない、地域資源を有効利用した循環型農業を実施しています。
- ・部会員全員が有機JAS認証を取得しています。



6 問い合わせ先

茨城県農林水産部農業政策課
石岡市産業戦略部農政課

TEL: 029-301-3828
TEL: 0299-43-1111

茨城県常陸大宮市

設定区域 みよし 三美地域、たかす 鷹巣地域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

常陸大宮市は、令和5年度に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、オーガニック学校給食の実現をきっかけとし、生産者と消費者それぞれの理解と連携を深め、有機農業を地域全体で推進しています。三美地区は、大規模な有機モデル団地として野菜類の栽培が始まり、鷹巣地区は、全国初の「有機農業を促進するための栽培管理協定」を締結し、地域ぐるみで有機米の栽培に取り組んでいます。



有機農業モデル団地
(三美地域)



常陸大宮市

2 地域の課題

- ①有機農業者等の育成・定着
- ②有機農業に関する生産技術の向上
- ③有機農産物の流通販売・消費促進
- ④有機農業に対する理解の促進

3 特定区域が目指す姿

農地の集積・集約化や土壌診断、講習会の実施により、収益性と生産技術の向上を図り、低コストかつ安定した収量確保と栽培品目の拡大に努めます。

また、有機農業の他地域への広がりを進め有機農業の仲間を増やすとともに、道の駅、直売所等を活用した販路の拡大や、学校給食等を通じた食育や地産地消を推進して行きます。

4 推進する生産者の取組

- ① 有機農産物の生産安定に向けた、土壌診断に基づく土づくり、栽培技術の向上に取り組めます。
- ② 学校給食における有機農産物使用に向けて、栽培品目の拡大に取り組めます。
- ③ 有機JASの認証取得に取り組めます。



栽培講習会 (三美地域)

5 生産者の取組紹介

- ・法人名 (株)JA常陸アグリサポート
有機取組開始年度：令和3年度
栽培品目：露地野菜、水稻
栽培面積：7.7ha (有機JAS認証取得)
- ・法人名 (株)カモスフィールド
有機取組開始年度：令和3年度
栽培品目：葉物野菜
栽培面積：4.0ha (有機JAS認証取得)



有機米栽培



コマツナ栽培

6 問い合わせ先

茨城県農林水産部農業政策課
常陸大宮市産業観光部農林振興課

TEL: 029-301-3828
TEL: 0295-55-8072

しおやまち 11 栃木県塩谷町

設定区域 かみてらしま とばしんでん
上寺島地区、鳥羽新田地区

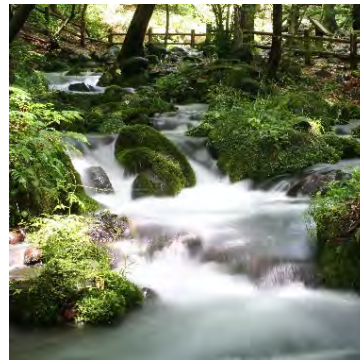
有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

塩谷町は、栃木県の中央やや北部に位置し、高原山や尚仁沢湧水など豊かな自然と、先人たちが切り開いた森林や田畑などの地域資源に恵まれており、有機農業を地域活性化の重要な手段として位置づけ、「自然と共生する農業づくり協議会」を設立し、有機農業の推進に取り組んでいます。



しょうじんざわゆうすい
尚仁沢湧水



塩谷町

2 地域の課題

町内全域が中山間地域に位置し、特に鳥羽新田地区は農地区画が小規模、不整形であり、営農の大規模化が困難であるため、有機農業の実践と高付加価値販売による農業者の経営の安定化を図ることが不可欠です。

3 特定区域が目指す姿

新たな有機農業取組者の呼び込みや、既存の有機農業者への支援体制を構築することにより、有機農業の団地化を図るとともに、有機農業の取組を広く発信し、有機農産物の高付加価値化につなげていきます。

4 生産者の取組の支援

- ・ 新たな有機農業取組者確保のため、栽培技術講習会の開催や有機JAS認証取得の際の費用を補助します。
- ・ 町内小中学校、保育園の給食に使用する米については、町産栽培期間中農薬・化学肥料不使用米を全量使用し、地域ぐるみでの産地づくりを支援します。
- ・ イベントへの出店やマルシェを開催し、消費者に対する理解促進を図ります。



学校給食への提供

5 生産者の取組紹介

- ・ 取組品目：水稻
- ・ 取組面積：6ha → 拡大目標：15ha
- ・ 栽培技術講習などに参加し、品質向上を目指しながら、環境負荷低減の取組みを行っています。
- ・ 町内外の子どもたち等を対象に田植えや稲刈りを実施し、消費者へのPRを実施しています。



6 問い合わせ先

栃木県農政部経営技術課 TEL: 028-623-2286
塩谷町役場産業振興課 TEL: 0287-45-2211

12 千葉県千葉市

設定区域 若葉区、緑区、花見川区

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

千葉市は県内の交通の要衝となっており、首都圏の大消費地と近接しています。若葉区、緑区、花見川区は施設園芸を中心に農業生産が盛んに行われている地域です。

市内のイチゴの生産者を中心に「千葉市SDGs対応型施設園芸推進協議会」が発足し、燃油の使用量の削減と、イチゴの収量や品質の向上を目標に取り組んでいます。



イチゴ栽培



千葉市

2 地域の課題

施設園芸では化石燃料の使用量が多く、継続して施設園芸を推進していくために、農産物の収量・品質の向上とともに、新技術の導入などによる環境負荷低減を図る取組もあわせて推進していく必要があります。

3 特定区域が目指す姿

市内の施設園芸においてヒートポンプや環境制御装置等の先端技術の組み合わせにより、環境負荷低減と収量・品質の向上を両立し、イチゴをはじめとする施設園芸産地としての生産体系の構築を目指します。

4 推進する生産者の取組

- ① イチゴ・トマト生産者を中心とする「千葉市SDGs対応型施設園芸推進協議会」による、ヒートポンプや環境制御装置等の先端的技術を活用した温室効果ガスの排出削減を推進します。
- ② 千葉市農政センターを核とする実地研修や、アグリテック企業及び農業者と連携した実証実験を行います。
- ③ 持続可能性を追求する千葉市の食のブランド「千」によるイベント等を活用した販路開拓を支援します。



環境制御装置を活用したイチゴ栽培

5 生産者の取組紹介

- ・ Y ´ S Agri 合同会社（千葉市若葉区）
鉄骨ハウス1棟、パイプハウス1棟、育苗棟1棟
栽培品目：イチゴ
- ・ 取組の概要
環境制御機器、外気導入、燃油・二酸化炭素削減のための省エネルギー装置の導入による温度管理の精密化で、イチゴの高品質化と燃料費削減に取り組んでいます。



ほ場に接地する外気導入コリドー部分

6 問い合わせ先

千葉県環境農業推進課
千葉市役所農業生産振興課

TEL: 043-223-2773
TEL: 043-228-6278

13 千葉県木更津市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

木更津市は千葉県の中央部に位置し、豊かな土地と温暖な気候条件に加え、首都近郊という立地条件を生かし、水稻を中心に農業を展開しています。また、「木更津市人と自然が調和した持続可能なまちづくりの推進に関する条例」を制定し、令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」を行うなど、市全域で有機農業に取り組んでいます。



木更津市

2 地域の課題

農業経営者の高齢化や農業生産資材費、人件費の増加、生産者の確保・育成をしていくこと、より利益率の高い農業経営を行っていくことが課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

「木更津市有機農業推進協議会」のほか、流通・加工業者と連携し、水稻だけでなく、幅広い農産物の栽培面積拡大や有機農業者の増加を図り、有機米のブランド化を推進するなど、有機農業の取組を推進します。

4 生産者の取組の支援

- ① 有機栽培の管理方法を確立し、検討会の開催、有機JAS認証取得支援など新規参入しやすい環境を整備します。
- ② ブランド化を図るために、市内で生産された有機農産物を活用した商品開発・PRを実施します。
- ③ 「きさらづ学校給食米®」を学校給食へ提供する取組を拡大・継続します。



きさらづ学校給食米®

有機野菜の写真▶



5 生産者の取組紹介

- ・株式会社耕す
- ・取組内容：有機農業の取組みを拡大、多様化することにより、生物多様性を保全しながら、良質で美味しい野菜の生産を行い、地域における持続可能で循環型農業のモデルとして有機農業の促進を図ります。
- ・今後の目標：市内の先進的事例となれるよう、特定認定の取得に向けて前向きに取り組めればと思っております。



6 問い合わせ先

千葉県環境農業推進課
木更津市役所農林水産課

TEL: 043-223-2773
TEL: 0438-38-6516

14 千葉県成田市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

成田市は千葉県の北部中央に位置する中核都市であり、広大な水田地帯と関東ローム層からなる丘陵地帯の台地には畑や山林が広がり、その間に谷津田が形成される地域です。

印旛沼周辺や川沿いの水田・谷津田で稲作、台地では露地野菜の栽培が行われており、従来より有機農業などの環境保全型農業への取組が盛んな地域です。



有機にんじん



成田市

2 地域の課題

地域としての有機農産物のPR、有機農業者の育成体制が十分ではないため、地域ぐるみでの有機農業への取組体制の構築を行う必要があります。

3 特定区域が目指す姿

関係者同士のつながりをつくり、地域ぐるみで有機農業の栽培技術の普及や学校給食等による消費拡大を推進することで、有機農産物の産地としての活性化を図ります。

4 生産者の取組の支援

- ① 慣行農業からの転換者、有機農業を希望する新規就農者に対しての講習会等の開催による有機農業の栽培技術の普及に取り組めます。
- ② 学校給食に有機農産物を積極的に使用することで、安定的な販売先を確保するとともに、地域農業の学びなど食育も推進します。
- ③ 有機農産物のPRイベント等の開催により消費者の理解醸成を図ります。



産業まつりへの出展

5 生産者の取組紹介

- ・ 有機農業に取り組む生産者団体：田畑から未来の成田をつくる会（おかげさま農場、かんらん車、大栄みみずの会、ドリーム成田、成田市環境保全型農業研究会など）
- ・ 環境にやさしい持続可能な有機農業の拡大に取り組む、生産された有機農産物が当たり前で市内で購入できる成田市を目指します。



6 問い合わせ先

千葉県環境農業推進課
成田市役所農政課

TEL: 043-223-2773
TEL: 0476-20-1541

15 千葉県佐倉市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

佐倉市は、県の北部の下総台地のほぼ中心部に位置し、都心へのアクセスも良く、交通の利便性に恵まれている利点を生かして、稲作を中心とした都市近郊農業を維持しつつ、多様な農産物が生産されています。

令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業の取組拡大に市全域で取り組んでいます。



佐倉ふるさと広場の風車



佐倉市

2 地域の課題

佐倉市の有機農業者は個別に生産、出荷、販路の開拓等を行っており、安定した販路の確保や生産技術に関する情報交換が十分とは言えません。

3 特定区域が目指す姿

佐倉市オーガニックビレッジ推進部会を中心に、生産、加工・流通、消費の各段階における関係者の連携を図り、学校給食での有機農産物の活用拡大を含めた多様な販路の確保や生産者同士の組織化を目指します。

4 生産者の取組の支援

- ① 有機栽培技術研修会の開催等による有機農業の生産技術の確立と普及に取り組めます。
- ② 有機農業者間での生産技術及び販売先等に関する情報交換や、消費者への情報提供等を円滑に行える組織を設立します。
- ③ 新たな需要を開拓するための有機JAS認証の取得を支援します。



有機米栽培技術研修会の様子

5 生産者の取組紹介

市内には、バイオ炭の活用やアイガモ農法などを始めとして、様々な手法で環境負荷軽減に資する農業に取り組む生産者が点在しています。

特定区域の設定を契機として、より多くの消費者に上記の取組を周知するとともに、市全域で連携した取組が展開されるよう推進に努めます。



アイガモ農法の様子

6 問い合わせ先

千葉県環境農業推進課
佐倉市役所農政課

TEL: 043 - 223 - 2773
TEL: 043 - 484 - 6142

16 山梨県北杜市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

北杜市は、ハケ岳や南アルプス、金峰山等3,000m級の山々に囲まれ、清らかな水と豊かな日照時間がもたらす太陽の恵みにより多種多様な農産物が生産されています。

令和5年3月に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、「有機農業のまち北杜」を目指し、有機農業の推進に取り組んでいます。



ほくとの有機農業



北杜市

2 地域の課題

有機農産物の収量や品質を確保する栽培技術の確立や地域の物流の問題、有機農業が環境負荷低減、生物多様性に資するものであるということの消費者への理解醸成が十分とは言えない状況にあります。

3 特定区域が目指す姿

スマート農業技術の導入や有機農業者間のネットワークづくりを推進し、安定的な生産・協力体制を構築するとともに、消費者の理解醸成を促進することにより、有機農産物の消費拡大を図ります。

4 生産者の取組の支援

- ① 農地の集積、集約化による有機農業の団地化を図り、新規就農者等が参入しやすい環境を整備します。
- ② 情報交換や出荷等を行うグループ化の促進、スマート農業技術の導入を推進し、安定的な生産体制を構築します。
- ③ 北杜市フードバレー協議会のネットワークの活用や学校給食への導入により有機農産物の消費拡大を図ります。



地域の小学校を対象にした有機農業とスマート農業の導入のようす

5 生産者の取組紹介

- ・ 北杜市有機農業推進協議会（代表 畑山農場 畑山貴宏）
- ・ 市内の有機農家が中心となり、北杜市フードバレー協議会の傘下組織として立ち上げました。有機JAS取得に向けた勉強会や新規有機栽培技術の共有を行う意見交換会、学校給食への有機栽培米の提供等を行っています。環境保全型農業直接支払の交付団体も兼ねており、参加者が70名を超える、地域の有機農産物の安定的な生産体制を支える団体です。



6 問い合わせ先

山梨県農政部農業技術課
北杜市役所商工・食農課

TEL:055-223-1618
TEL:0551-42-1354

17 長野県佐久市

設定区域 望月地区

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

佐久市当該地区は有機農業を始めとする環境にやさしい農業の取組がされている他、有機農業を志す新規就農者を研修生として受け入れる等、環境にやさしい農業の取組が浸透している地域であります。

JA佐久浅間等と連携して化学肥料の使用低減に寄与するペレット堆肥の製造等の取組について、基盤確立事業の認定を受けています。



ハイブリッド肥料



佐久市

2 地域の課題

生産物の高品質化、差別化や高付加価値化、規模拡大や作業の効率化によるコスト削減の徹底等により収益性の高い農業の確立が急がれています。

3 特定区域が目指す姿

基盤確立事業の認定を受けているJA佐久浅間等と連携した「望月土づくりセンター」でのペレット堆肥や化成肥料とのハイブリット堆肥の製造・流通・販売等の取組を推進します。

4 推進する生産者の取組

当該地区のあらゆる栽培品目に対し、環境負荷の低減に資する先端的な技術として、土壌診断と合わせて、有機質資材であるペレット堆肥（基盤確立事業で認定を受けたJA佐久浅間等が製造）の施用による土づくり及び化学合成農薬・化学肥料の使用を減少する取組を推進します。



望月土づくりセンターの
ペレット堆肥製造機械



ペレット堆肥
パッケージ

5 生産者の取組紹介

令和5年からペレット堆肥の生産がはじまり、散布方法等の確立を目指しています。ペレット堆肥は散布が容易なため、大型の散布機械を所有していない農業者が店頭で購入しています。



機械によるペレット堆肥散布

6 問い合わせ先

長野県農政部農業技術課
佐久市役所経済部農政課

TEL: 026-235-7222
TEL: 0267-32-3203

18 静岡県藤枝市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

藤枝市は静岡県のほぼ中央に位置し、温暖な気候などに恵まれ、古くから茶の集散地として栄え、茶を基幹産業とした農業振興を展開しており、多くの生産者が茶や水稻などの有機農業に取り組んでいる地域です。

令和5年2月に「オーガニックビレッジ宣言」を行い、有機農業の地域ぐるみでの取組を推進しています。



有機栽培米
(学校給食に提供)



藤枝市

2 地域の課題

新規就農者の獲得や、耕作放棄地を有機栽培へ転換を図るなど有機農業の規模拡大を推進するとともに、有機農産物の消費拡大に向けた取組を進めていく必要があります。

3 特定区域が目指す姿

有機栽培へ転換しやすい環境を整備することで、有機農業の規模拡大を推進していくとともに、有機農産物が「選ばれる食材」となるよう取組を推進していきます。

4 推進する生産者の取組

- ① 新規就農者や既存の生産者の取組拡大のため、有機農地の団地化の検討や乗用型茶園管理機などの導入を支援し生産体制を整備します。
- ② 農業生産の省力化、生産性向上などに資するスマート農業機器の導入の支援、有機堆肥の開発などを検討します。
- ③ 学校給食への有機食材の提供や、市内イベントやオーガニックマーケット等と連携して有機農産物の消費拡大を図ります。



学校給食への有機食材の提供の様子

5 生産者の取組紹介

- ・生産者：杵塚民子氏（有）人と農・自然をつなぐ会
- ・有機茶の生産に加え、加工も行っており、前茶のほかに紅茶も作っています。自然環境と生物多様性に寄り添った栽培を行っています。今後は有機茶園の面積拡大に努めていくとともに、有機茶の生産量・販売量の増加、海外展開を加速させていきます。



有機茶園の様子

6 問い合わせ先

静岡県食と農の振興課
藤枝市農業振興課

TEL: 054-221-2689
TEL: 054-643-3266

19 新潟県新発田市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

新発田市は「山・川・海」と豊かな自然に恵まれた米と畜産のまちであり、県内有数の良質米コシヒカリの産地となっています。市では、令和4年度から商工業や観光業と連携した「オーガニックSHIBATAプロジェクト」を始動し、有機農業によるブランドストーリーの構築を目指しています。



有機栽培啓発資材



新発田市

2 地域の課題

プロジェクトを始動し2年が経過しましたが、令和5年度の有機米の作付面積は、市内の水稻作付面積の約0.12%と、非常に割合が低い状況であり、作付面積の拡大は喫緊の課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

中山間地域を中心に有機農業の取組を進め、中山間地域における成功事例を他の地域に広げていきます。有機農業を市内全域に普及させることにより、持続可能な農業の実現を目指します。

4 生産者の取組の支援

- ① 長岡技術科学大学と連携し、除草用小型ロボットの開発を進め、スマート技術を用いた有機栽培の普及を行います。
- ② 土づくりを推進するため、市有機資源センターが生産する堆肥をペレット化し、供給します。
- ③ 有機米の出口戦略として輸出に取り組めます。
- ④ 関係団体と連携し、イベント等でのPR活動により、国内での消費拡大につなげます。



開発中の除草用小型ロボット

5 生産者の取組紹介

させ農園（株）は、30年以上有機米栽培に取り組んでいる農業法人です。現在は、合鴨農法などにより、有機米を約4ha栽培しています。将来的には、特定計画の認定を目指し、引き続き有機農業に取り組んでいきます。

特定区域の設定により、有機農業の取組が益々普及していくことを期待します。



ほ場の合鴨の様子

6 問い合わせ先

新潟県農林水産部農産園芸課 TEL: 025-280-5296
新発田市役所農林水産課 TEL: 0254-33-3108

20 新潟県阿賀野市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

阿賀野市は水稲中心の地域であり、豊富な水量を誇る阿賀野川を利用して、二大幹線水路をはじめ、ほぼ全域に用水路が整備されており、広大な越後平野の穀物地帯の一角をなしています。特に、笹神地区では、いち早く「ゆうきの里ささかみ」宣言を行い、有機農業に力を入れてきました。



道の駅あがの



阿賀野市

2 地域の課題

近年では環境配慮に対する意識の高まりなどを背景に、有機への注目が高まっており、有機米の旺盛な需要に応えるためには、笹神地区だけでなく、市全体で有機米の生産に取り組む必要があります。

3 特定区域が目指す姿

市全域で有機農業の生産技術の確立と普及、企業等と連携した有機農産物の消費促進を進め、市内の農家所得の向上と、新規就農者の確保による担い手不足の解消を目指します。

4 推進する生産者の取組

- ① スマート農業技術の導入により省力化を図る有機農業の生産活動を推進します。
- ② ペレット堆肥の活用による資源循環の取組を推進します。
- ③ 道の駅の加工・販売機能を活用した商品の開発や有機農産物販売コーナーの設置など、有機農産物の消費拡大の取組を推進します。



アイガモのように水田を動き回る抑草ロボット



環境負荷低減の見える化ラベル「見えるらべる」を貼った農産物の販売（道の駅）

5 生産者の取組紹介

- ・青空ファームは、環境負荷低減事業活動実施計画の認定を受けており、有機米（JAS認証）の栽培、堆肥の施用、化学肥料及び化学農薬の使用量減少などに取り組んでいます。
- ・米について、消費者の選択に資する環境負荷低減の取組の「見える化」を進めています。



ペレット堆肥の散布



有機米（JAS認証）の販売

6 問い合わせ先

新潟県農林水産部農産園芸課 TEL: 025-280-5296
阿賀野市役所農林課 TEL: 0250-61-2478

21 新潟県佐渡市

設定区域 全域

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

佐渡市では、トキをシンボルとし、トキと人が暮らす里山で、生物多様性保全型農業と農業経済が連携した持続的な環境保全型農業に取り組んでいます。

佐渡島の中心部の平野は離島の平野としては広い面積を有し、かつ真野湾に注ぐ国府川など多くの川で潤うため、水稻栽培が盛んに行われています。



田んぼの上を飛ぶトキ



佐渡市

2 地域の課題

佐渡市の基幹産業である水稻生産では、「朱鷺と暮らす郷」認証制度の取組により、水稻耕作面積の約89%が特別栽培農作物等生産面積となっている一方、有機的に管理されているほ場は1%弱です。

3 特定区域が目指す姿

無農薬無化学肥料栽培(無農栽培)を含む有機農業へのステップアップを、佐渡島内の有機資源の循環によって達成し、日本全土の資源循環の普及拡大のためのモデルとなることを目指します。

4 生産者の取組の支援

- ① 有機農業の生産拡大と収量向上のための農業者の情報共有の場づくり、牡蠣殻やもみ殻堆肥などの島内資源の有効活用、ラジコン除草機等のスマート農機の導入による労働力の軽減、苗の供給や乾燥調製の共同化等の取組を推進します。
- ② 認定基盤確立事業者(酒業者)と連携した有機農産物の利用拡大、佐渡市内又は首都圏の学校等と連携した学校給食での利用拡大を推進します。



食育講師をする生産者(左)と、有機米給食を食べる児童(右)

5 生産者の取組紹介

JA佐渡自然栽培研究会は、水稻の自然栽培(無農薬・本田無肥料栽培)や無農栽培、野菜の無農栽培を行う農家が参加しているJAの栽培部会です。農家の提案から、研修会の開催・参加、無農栽培作物の食味検査を実施するなど、活発に活動しています。



研修会の様子

6 問い合わせ先

新潟県農林水産部農産園芸課
佐渡市役所農林水産部農業政策課

TEL: 025-280-5296
TEL: 0259-63-5117

22 富山県南砺市

設定区域 皆葎熊川

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

南砺市は、富山県の南西に位置し、庄川や小矢部川の急流河川が北流するなど、栽培条件にも恵まれ、県内でも特に農業が盛んです。

皆葎熊川は、中山間地に位置する五箇山地域にあり、5haの農用地が団地化されています。

令和4年度から、地元の農作業受託組織である五箇山農業公社が、水稻の有機栽培実証に取り組んでいます。



五箇山地域



皆葎熊川ほ場



南砺市

2 地域の課題

南砺市では、五箇山地域の活性化と農地維持を推進するひとつとして、有機農業の拡大に取り組んでいます。五箇山地域の気候・風土に適した栽培技術の確立や販路確保が大きな課題となっています。

3 特定区域が目指す姿

中山間地域ならではの自然ロケーションを活かした水稻の有機栽培に取り組み、また、地域全体で有機農業の実践を図ることで、新たな産地形成を目指しています。

4 生産者の取組への支援

- ① 水稻有機栽培の収量の確保・安定化に向けた研修会の開催や先進地視察を行い、五箇山地域の気候・風土に適した栽培技術の確立とノウハウの共有を支援しています。
- ② 地元の酒蔵や市内の食品メーカーと連携し、日本酒や米菓等の加工品の開発や販売実証を支援しています。



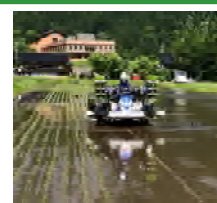
有機栽培研修会



加工品開発
(日本酒、お団子)

5 生産者の取組紹介

- ・ 五箇山農業公社が、市内の先駆的な有機農業者から技術指導を受けながら有機栽培の実証やデータ収集に取り組んでいます。
- ・ 地元NPO法人が中心となり、市内の有機食材を使った“五箇山御膳”を開発して試食会を開催するなど有機農産物の認知度向上を図っています。



水稻の有機栽培実証



有機食材を使った
五箇山御膳

6 問い合わせ先

富山県農業技術課
南砺市農政課

TEL:076-444-8292
TEL:0763-23-2016

23 石川県^{はくさん}白山市

設定区域 まっとう 松任地区

有機

温室効果
ガス削減

先端技術

1 地域の特徴

白山市では、沿岸部から山間地域までの広い地域的条件を活かし、稲作を中心とした多様な農林水産業が営まれ、良質な生産物が産出されています。松任地区では大麦の生産時に自動操舵システム等スマート機器を活用した畜産堆肥等の有機質資材の施用や水稻生産時の化学肥料・化学農薬の使用量削減に取り組んでいます。



白山と手取川



白山市

2 地域の課題

農家の減少や高齢化のほか、農産物価格の低下や生産資材価格の高騰などの環境の変化に対応するため、スマート技術の導入や地域での農産物の利用拡大を推進していく必要があります。

3 特定区域が目指す姿

スマート技術など先端的な技術の活用による作業効率化と環境負荷低減の両立、担い手育成や生産力向上の取組を推進し、地域ぐるみでの環境負荷低減の取組拡大を目指します。

4 推進する生産者の取組

- ① 自動操舵システムを用いた畜産堆肥等の有機質資材施用や播種作業など、環境負荷の低減に資する先端的な技術の活用により、生産現場の作業効率化と環境負荷低減活動の両立を推進します。
- ② 環境負荷の低減に資する先端的な技術を活用して栽培された農産物を学校給食で提供する等の食育・PR活動を推進します。



自動操舵システムによる大麦の播種作業

5 生産者の取組紹介

- ・ JA松任スマート農業研究会では、自動操舵システムを活用し、有機質資材を施用することにより、化学肥料の使用量の削減に取り組んでいます。
- ・ みどり認定を取得したことで、水稻及び大豆においても環境負荷低減の活動に取り組んでいきます。
- ・ 今後も白山市で持続可能な農業を実践します。



JA松任スマート農業研究会のメンバー

6 問い合わせ先

石川県農林水産部生産振興課 TEL:076-225-1622
白山市産業部農業振興課 TEL:076-274-9540